

# 平成25年度 新発田市国語部活動報告

部長 星野 郁子

## 1. 研究主題 「言葉を大切にすることの育成」

## 2. 研究の概要

- 4月11日(木) 第1回国語部専門部会  
部長・副部長の選出、研修テーマ・活動計画の立案、  
第3回国語部専門部会授業者の選出
- 6月7日(金) 第2回国語部専門部会 講演会  
講演「言葉を大切にすることの育成」  
講師 村上市立西神納小学校 計良 省吾 教諭
- 11月1日(金) 第3回国語部専門部会 研究授業  
授業者 聖籠町立蓮野小学校 後藤 美代子 教諭  
指導者 新潟大学教育学部附属新潟小学校  
八木 信之資 教諭

## 3. 研究の実際

### (1) 第2回目 国語部専門部会

今年度の研修テーマに関連し、なぜ「言葉を大切にさせることが必要なのか」について、次の指摘をいただいた。「獲得した言葉の量の分しか感覚や認識はない。例えば「ムカつく」を多用すると、単一的な「ムカつく」感情しかもてなくなる。逆に言えば、言葉を豊かにすることで、人の感情は豊かになり人生が幸せなものになる」というものである。その視点から「音読」や「辞書」、「視写」等についての提案をいただいた。特に音読については、実際の取り組みについて詳しくお話いただいた。普段多く行われる音読は、「音読カード」を使用して「ゆっくり・はっきり・句読点に気をつけて」等の項目を意識させる。しかし、「もう1つの音読」では、「1分間に2ページ」など、目安をもとにタイムを計り、できるだけすらすらと速く読むことを目指す。この音読で重視すべきは、まず回数である。読みを深めるための音読と言葉の基礎力を高めるための音読とは別に考えるべきであるというご指導だった。全ての学習の基礎となる「言葉」の重要性を改めて実感する機会となり、授業に生かせる貴重なお話をいただいた。

### (2) 第3回目 国語部専門部会

授業研究「くらべて よもう」（教材文「じどう車くらべ」）  
本時までの学習をもとに、はしご車の「しごと」と「つくり」とをとりえて、説明文を書く学習場面であった。絵を見ながら、はしご車の「しごと」や「つくり」がどうなっているかの発表では、子どもたちはとても集中し活発に発表をしていた。学級の雰囲気もとてもよかった。今回の文章を作らせる上で、子どもたちからあがった「しごと」と「つくり」の中で、その整合がとれるように、集約していく視点が必要だったという点が課題として挙げられた。指導者の八木先生からは、キーワードとなる「そのために」を前時までにはしっかり理解させることが重要であり、そのための手立てがあるとよかったというご指導をいただいた。

「書く」活動は、子どもたちにとっては、エネルギーがいる活動であり、それでも「書きたい」と思える目的意識をいかにもたせることができるかが重要になること、また、国語教育における授業改善についての視点をお話いただいた。

## 4. 成果と課題

第2回での講演会では、授業に生かせる具体的なお話や実践がお聞きでき、とても良かった。講師の先生からは、たくさんの資料を用意していただいたが、時間が短かった。せつかくの貴重な機会なので、もう少し開始時間が早いとよかった。

第3回目の授業研究では、本時のみでなく、事前の指導案検討の機会を設けるなど、国語部全体で授業を考え研修する機会があるとよかった。